

# 大学入試問題研究 3 ～ 神戸大学 ～

樟蔭高校 英語科 後藤 紀博

本校の特進コース進路指導の一環として、英語科で行った各大学の分析の中から、神戸大学の分析を紹介したい。難関校ではあるが本校からの合格者も出た大学であり、また毎年志望者もいる。

紙面の都合上、詳細分析は1段落分のみになるが、ご容赦願いたい。

## 1. 個別学力試験の概要

神戸大学 (前後期1本づつ、文理共通 80分試験)	配点		合格最低点AVE
	センター	個別学力	550/800 計約70%
	文(前)	450 350	ということは、 セ83%得点だと個別50%で合格圏内 セ70%得点だと個68%必要
	文(後)	400 400	
国英100/理数75/地歴公50+50 英125/数75/国150			
国英100/理数50/地歴公50+50 英200/小論200			

## 2. 経年比較

2012年度 前期				
形式	「テーマ」とポイント	語数	難易度	
長文×3(和訳含む)	①「生物の環境への適応力」 無生物主語の和訳/前置詞+関係詞の文の和訳/前後文脈から適する副詞を選ぶ	530語	やや難	
	②「宗教を科学的に考える」 分詞構文の訳/前後文脈から適する語句を選ぶ/難易度の高いイディオムの言い換え表現選択	520語	難	
	③「大学の意義について話す男女の対話文」 対話文独特の省略/前後文脈から適する語句を選ぶ/抽象度の高い英文の言い換え表現選択	460語	やや難	
英作文×2	①下線部英作	30語程度	並	
	②日本語のエッセイに対する意見を述べる自由英作	50語程度	やや難	

2010年度 前期				
形式	「テーマ」とポイント	語数	難易度	
長文×3(和訳含む)	①「小説中での子供の描き方の移り変わり」 指示語を明らかにして和訳/複文の和訳/内容一致選択	630語	難 (但、選択は並)	
	②「睡眠と記憶に関する考察」 内容要約/無生物主語の和訳/前後文脈から動詞を適する形にする	640語	やや難	
	③「拾った財布を匿した意地の悪い母と娘の物語文」 前後文脈から適する短文を選ぶ/抽象度の高い語句の説明要約/関係詞の文章の和訳	560語	やや難	
英作文×2	①下線部英作	25語程度	並	
	②下線部英作	30語程度	やや難	

2009年度 前期				
形式	「テーマ」とポイント	語数	難易度	
長文×3(和訳含む)	①「日本の風土と日本人の気質」 関係副詞の文の和訳/前置詞選択/抽象度の高い語句を日本語で説明する/内容一致	500語	並	
	②「氷河期に関する新説」 抽象度の高い文を具体的に和訳、選択/多義語の本文中での意味を選ぶ	580語	やや難	
	③「冗談の通じないアメリカ人」 抽象度の高い語句を日本語で説明する/抽象度の高い語句の言い換え表現選択	530語	難	
英作文×2	①下線部英作(日本語のこねた表現をなんとか英語で表現する)	45語程度	難	
	②下線部英作	20語程度	やや難	

3. 2012年 英語 神戸大学 2/25, 前期日程 詳細分析

【1】 1パラグラフ

① The late nineteenth century was a rough time for frogs, worms, and a number of other creatures. ② As the study of physiology blossomed in Europe and America, scientists went wild dividing, dismembering\*, and relocating these unfortunate subjects. ③ (1) According to scientific legend, they also slowly heated some of the animals in order to test the extent to which they could adapt to changes in their environments.

問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

1パラ 和訳

① 19世紀後半は、カエルや虫やその他多くの生物にとっては厳しい時代だった。②ヨーロッパやアメリカで生理学が盛んになるにつれ、科学者たちはこれら不運な被験者たちを手荒く解剖し、手足を切り取り、つなぎ合わせた。③科学的な神話によると動物たちが環境の変化にどの程度適応できるかを調べるために、彼らはいくつかの動物をゆっくりと熱したりもした。

① The late nineteenth century was a rough time for frogs, worms, and a number of other creatures.

英文①

【語句】

・ rough 【形】 粗い, 厳しい, つらい ・ frog 【名】 カエル ・ worm 【名】 虫 ・ a number of たくさんの～ (\*the number of = ～の数) ・ creature 【名】 生物

【構造など】

The late nineteenth century / was a rough time /

19世紀の後半

for frogs, worms, and a number of other creatures.

A, B(,) and C

(ここではカエル, 虫, そしてその他多くの生物)

② As the study of physiology blossomed in Europe and America, scientists went wild dividing, dismembering\*, and relocating these unfortunate subjects.

英文②

【語句】

・as【接】～するにつれて(「時」「～なので」「～だけれど」「～のような」など多義) ・study【名】研究 ・physiology【名】生理学 ・blossom【動】開花する(ここでは「盛りになる」) ・go wild dividing「野性的な分割に行く」→「手荒く解剖する」 ・dismember\*【動】手足を切り取る ・subject【名】被験者(実験されるもの。「教科」「主題」など多義) ・relocate【動】転移させる(ここでは「元に戻す・つなげる」)

【構造など】

As the study of physiology blossomed / in Europe and America,  
S' V' S' が V' するにつれ…

scientists went wild dividing,

A 「手荒く解剖し」(イデオロギイではない。文脈から推測し噛み砕くことが必要)

dismembering,

B 「手足を切り取り」

and relocating these unfortunate subjects.

C 「つなげた」

この不運な被験者を

(被験者=前文の frogs,worms,and a number of other creatures)

③ (1)According to scientific legend, they also slowly heated some of the animals in order to test the extent to which they could adapt to changes in their environments.

英文③

【語句】

・According to～～によると ・legend【名】伝説, 神話 ・extent【名】程度(\*to some extent だと「ある程度」) ・adapt to～【動】～に適応する

【構造など】

According to scientific legend,

科学的神話によると → つまり、「事実かどうかはわからないが科学界で伝えられる話によると」ということ

they also slowly heated some of the animals 動物を熱した

/ in order to test the extent

↑ < to which they could adapt to changes

/ in their environments >.

<彼らが環境中の変化に適応できる> → その程度 を調べるために

この分析は、教員間で共有できるデータとしての役割と、生徒たちが自学をする際に参考になれば、という思いで始められたものである。1. 「個別学力試験の概要」と2. 「経年比較」は主に教員間でコンセンサスを取り、生徒指導に当たる際のために、3. の詳細分析は生徒が読んでわかるように、という思いで作成し、発表させてもらったものである。かなりの手間と労力は必要であったが、継続して行なっていけばデータベースとして積み重なっていくと思われる。